

Letters

レターズ / 加入者や保護者の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

今回のレターズは令和2年度、3年度に行った「新型コロナウイルス対策特別給付金」の事業に対し、お寄せいただいたお便りを紹介します。19ページ掲載の「新型コロナウイルス対策特別給付金のご報告」と併せてご覧ください。新型コロナウイルスに関わる状況は日ごとに变化しておりますが、加入者の皆様が心穏やかな日常を送れるよう、職員一同願っております。 ※掲載したお便りの中の感染状況などは、募集当時のものです。ご了承ください。

兵庫県

N・Mさん（母）

いつも助けていただきありがとうございます。この度は思いがけず給付金をいただき、心も満たされる思いです。昨年度は自宅で子ども達3人はそれぞれオンライン授業や学習、私は食事作り…。疲れきりました。

今年度から2人が県外の学校に進学し、急に次女と2人の生活がスタートしました。夏休みには帰ってきますが、遠方に旅行…という訳にはいきませんので、コロナの様子を見て家族で出かけるときにありがたく使わせていただきます。夏にはワクチン接種も済ませられそうです。まだまだ学費もかかる子ども達が自分の足でしっかり歩いていける日まで頑張ります。これからもよろしく願います。

滋賀県

K・Yさん（母）

この度は特別給付金をいただきありがとうございます。娘の学費に使わせていただきます。

娘はこの4月より大学に進学し、将来の夢に向かって第一歩を踏み出したのですが、緊急事態宣言により大学が配信授業となり、家で過ごす毎日を送っています。出鼻を挫かれたようで、やる気を持続させるのもしんどそうですし、新しい人間関係も思うように築くことも難しく、色々と大変そうで見えていて可哀想になります。

早くコロナが収束し、普段の生活が戻ってくれることを願うばかりです。

埼玉県

S・Mさん（母）

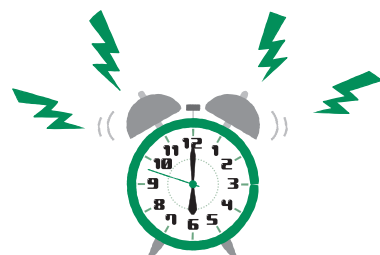
在宅勤務が増え、親子で過ごす時間も増えました。帰宅して親がいる姿を見てニコッと笑う娘が何とも愛おしく感じます。行動は制限されていますが、悪いことばかりではないねと娘とよく話します。そしていつか行きたい場所を言い合っています。学校は行事もほとんどないため、張り合いがないようですが先生方も工夫を凝らしてくれています。

皆様もご健康に気を付けてください。不自由さも感じると思いますが、新たな発見もきっとできると思う今日この頃です。

群馬県

S・Yさん（母）

小学校へ入学しましたが、同じ保育園のお友達が一人もいないので、お友達ができるか不安が多かったです。やはりコロナウイルスのため、休み時間はトイレ以外はなるべく自分の席で過ごさなければならない様です。本人も恥ずかしがり屋なので、自分から話しかけることができず、なかなかお友達と仲良くなることが出来ません。早くお友達と一緒に遊ぶ機会が増え、仲良くなれたらいいなと思います。



匿名希望さん

特別給付金、ありがとうございました。息子は毎日スポーツを頑張っていますが、コロナの流行で練習場所も使用禁止になり大会も中止が増えがっかりしていたところ、給付金が届き、息子へのごほうびにシューズやウェアを購入させてもらい、息子も大変喜んでいました。感謝しかありません。

F・Mさん（母）

家族でのお出かけが出来なくなり、家で過ごす時間が増えた結果、子どもがYouTubeにハマリ、毎日視聴するようになりました。スマートフォンだけでなく、テレビ画面でも観ることが出来るのですが、スマートフォンの方が操作しやすかったり、親の手（各種設定作業）が必要でない為、もっぱらスマートフォンで視聴しています。小さい画面に顔を近づけて観ているので、眼への影響が心配になります。一日の視聴時間は決めています。それでも毎日視聴するようになってしまいました。

この度の給付金や、越年資金等、本当に助けられています。ありがとうございます。助けられるばかりでなく、協力できるように、寄付が出来るように頑張っていきたいです。

福島県
K・Jさん（母）

この度は特別給付金をご送金くださり大変ありがとうございます。私は結婚式場で仕事をしておりましたが、コロナの影響により仕事が激減し、今は転職して派遣スタッフとして働いております。息子も高校の行事が減り、楽しみだったことがなくなったりと残念なことが多いですが、元気に学校に通っています。

まだまだ収束の見通しがつかず、不自由な生活ではありますが、前向きに笑顔を忘れず過ごしていけたらと思っています。皆様も大変な毎日ではありますが、どうかお体を大切に過ごしてくださいね。頂いた給付金は大事に使わせていただきます。本当にありがとうございました！

O・Yさん（母）

いつも多大なるご支援をありがとうございます。おかげさまで、安定した生活を送らせていただいています。一年数カ月前、学校が休校となった時は、三度の食事の支度が大きな負担となりました。ごちそうを作るわけではなく、インスタントも利用するのですが、夏季休暇などと違い、先が見えず期限がはっきりしなかったことが原因だと思っています。一方で昼食は息子と一緒に作り、晴れた日はガーデンランチをするなど、楽しみを見だし過ごしました。私は夫を亡くした後、精神的に不安定になったため、幼子を抱え実家に戻りました。コロナは高齢者や基礎疾患のある人が重症化しやすいと聞きます。今は、70代後半の父母が感染しないように気遣っています。

C・Yさん（母）

いつも色々な情報をいただき助かっています。まさかこんなことがという出来事が起き、普通のことがとても貴重であることを実感する日々を過ごしていますが、全世界が同じ境遇だと思うと、わがままも言ってもらえないな、となんとか踏ん張れています。子どもたちもできないことが多い中でも、出来ることを楽しんでいます。

それでも早くこの日々から抜け出して、当たり前の日々が戻ってくることを願います。あ〜おもいっきり叫びたい！！

M・Aさん（母）

娘が、コロナ流行前に行った旅行先の、大きなお風呂（温泉）に行きたいと言っているのです。早く安心して家族旅行に行きたいです。

昨年の春に小学生になった娘は、コロナ禍の学校生活しか知らないのです。本当の学校はもっと楽しいんだということを早く体感してもらいたいです。娘がこの一年の中で、大きく変化したり、ストレスを抱えてそうだとは感じませんが、早く平和な世の中になってほしいです。

S・Mさん（母）

学校の行事等がコロナの影響で中止や延期になっているので、「どうせできないし」「別にやらなくていいし」等、もとから諦める言葉を言う事が増えました。

それでも家族元気で暮らせているので、とりあえず良し、と思うしかない日々です。早く元の生活に戻ってほしいと思います。基金には感謝しかありません。コロナ予防対策にはお金がかかりますので…。ありがとうございます。

K・Yさん（母）

新型コロナの流行下、長男はちょうど小学校入学のタイミングでした。入学直後から休校で、机に向かう習慣もこれから、という時に学校からの大量の課題。子どもはもちろんのこと、親も大変苦労しました。

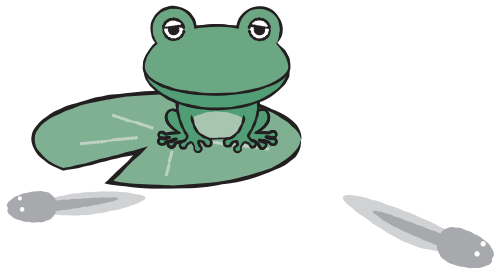
長女は保育園入園後、遠足などがなくなり、母親の「お弁当」をはじめて食べたのが、数日前、自宅のリビングでした。大好きなキャラクターのお弁当箱の蓋を開ける、ワクワクした満面の笑顔は忘れられません。

これまで過ごしてきた何気ない日常が、どれだけ貴重な経験子どもたちに与えてくれていたのかを実感します。基金の皆様により日々を支えていただき本当に感謝しています。ありがとうございます。

茨城県
N・Rさん（母）

いつもお世話になっております。特別給付金、ありがとうございました。

コロナ禍で学校行事が大幅に減りかわいそうです。卒業アルバムもマスク姿が多く…何年後かにはこんなことがあった時代だったと思えるアルバムになると良いです。健康面では、手洗い、消毒、マスクのおかげで皆、風邪をひかなくなりました。



S・Hさん（母）

コロナ禍の為、生活のリズムが狂い、不登校、昼夜逆転になっています。4月から中3になり進学は意識しているようですが、私も働いている為、夜通し付き合う（向き合う）こともできずの状況です。私が福祉の仕事をしているため、出かけることも制限されており、外出するきっかけも無く、家の中で過ごしていますが、母と息子の趣味が合わず、家の中でも別々のことをしています。

息子は引きこもりになってから、太った為、他者に見られるのもイヤになっているようです。なので、夜二人でウォーキングしています。

色々子どもの気持ちに寄り添い、頑張れば頑張るほど、子どもの状況のその逆へ向かってしまい、子どもの気持ちを知ることが出来ません。実家の母も高齢なため、私の姉妹と交代でお世話することになったのですが、祖母が来ると又、息子の生活や態度が変わってくるので、心のすれ違いの繰り返しになっています。息子への見方を変えればいいと思いますが、どう変えていいのか、毎日、今日はどうだろう？ こうしてみよう、等と考える毎日を過ごしています。

宮城県
F・Rさん（母）

この度は特別給付金の支給をありがとうございます。長男の中学校でクラスメイトに陽性者が出たことから、クラス全員がPCR検査対象となり、私は職場から自宅待機を命じられ、小学生の次男も登校を見合わせるようになるなど、大きな影響がありました。長男は陰性だったので心からホッとしましたが、引き続き感染対策と体調管理に努めたいと思います。

静岡県
Y・Tさん（母）

県外にいる息子が、緊急事態宣言により何か月かバイトが出来なくなってしまったので、給付金は本当にありがたいです。最近病気になってしまい、一週間入院することになったのも重なり、息子にとって勉強の面も金銭的にもかなり焦っていたので、今回の給付金は昨年以上に喜んでいました。心から感謝し、大切に使うと思います。ありがとうございました。